

# 16春闘要求アンケートに職場の声を集めよう!

## アンケート結果は来春闘の要求ベースに!!

# 東海

No.3120

15.10.16

国土交通労働組合  
東海建設支部  
教育宣伝部

### 一人ひとりの要求を 対話で組織化しよう

国公労連では、来春闘での賃上げ要求額をはじめとした一六春闘要求を職場の全ての労働者から集約することを目標に一六春闘要求アンケートと非正規労働者要求アンケートを実施することとしています。

本要求アンケートは、労働組合の活動への理解と支持を広げると共に、職場に働く仲間との対話に活用しコミニケーションを図ることも目的の一つとしています。

具体的には組合員の皆さんの要求アンケートは国公労新聞九月二十五日付を活用し、取り組むこととしております。また、未加入者分(ブルー)と期間業務(委託)職員から集約を目指す、非正規要求アンケート(ピンク)の用紙を準備し配布しておりますので各分会での取り組みに活用をお願いします。

この時期に、職員の皆さんにご協力をいただき取り組みを行っていただきます。組合への加入・未加入にかかわらず、職場に働く全ての労働者の生活実感や賃金、職場における不満などを把握し、公務職場全体の制度改善、職場環境の改善等につなげていくことを目的として取り組んでいきます。最大限の取り組み・ご協力をお願いします。

## アンケートの結果は 諸要求の掘り起こしに

二〇一六年春闘にむけて、国公職場で働く労働者の賃金をはじめとする労働条件等に関する要求と、職場での不安や不満を総ざらいし、一人ひとりの要求をふまえた運動を展開する観点から、全職員を対象とする「国公労連二〇一六年要求組織アンケート」を実施し、また期間業務(委託含む)職員を対象に「非正規で働く仲間の要求アンケート」にとり組み、賃金底上げをはじめとした、労働条件改善等の運動に活用してまいります。

本調査で得られた結果は、一二月月上旬に国公労連から提案される、春闘期統一要求案の重要な資料となるだけでなく、全ての組合員が積極的に職場討議に参加する大衆的な要求確立の土台となるものです。

また、職場集会を通じて「要求アンケート」の取り組みに関する意思統一をするなど、各職場における諸要求の掘り起こしにとどまらず、職場での対話を広げ組織強化につなげていくことも重要です。

#### ◆アンケートの対象者と用紙の配布

表中で○のついている方が対象者となります。枠内に記載したアンケート用紙を配布し、アンケートの協力依頼を行って下さい。

	正規職員(※1)		定員外(非常勤)職員(※2)	
	組合員	組合未加入者	組合員	組合未加入者
国公労連 2016 要求組織アンケート	○ 国公労新聞(9月25日号)で対応	○ 別途(任意)を印刷し送付(ブルー)する		×
非正規で働く仲間の要求アンケート		×	○ 別途(任意)を印刷し送付(ピンク)する	

※1再任用職員も含まれます。  
※2委託職員も含まれます。

#### ◆取り組み期間および書記局への報告締め切り

取り組み期間	書記局への報告締め切り	備考
9月～10月 (集中期間)	11月6日(金)	基本集約日(国公労連の春闘要求原案に反映されます)
11月	12月11日(金)	最終締め切り日(全労連の第2次集約結果に反映されます)

※上記の要領で積極的な取り組みを!

## 職場の全ての仲間へ とていくみの訴えを!

組合未加入者に対してもアンケートの協力依頼をし、組織拡大の観点から、賃金改善の運動への参加を訴えながら、公務員賃下げが更に狙われている等の情勢を

支部としても、国公労連からの提起を受け積極的にこのアンケートに取り組み二〇一六年春闘に向けた取り組みの出発点として、また、組織活動と組織強化の観点から、積極的な取り組みを行ってまいります。

話し合う良い機会として積極的な声かけを行っていきましょう。

趣旨・目的のポイントとして、「①現在の生活実感や賃金改善希望額などを把握するもので、春闘の要求ベースにする」「②残業時間や職場の状況などについても調査をし、職場環境改善にもつなげていきたい」ことから、一人でも多くの方に回答していただくことで「職場全体の貴重な実態データを得られること」、更に「同じ職場で働く者として問題意識の共有が出来ること」を訴え、積極的な参加を呼びかけましょう。

# 国労連 2016年要求組織アンケート

## 要求を確信に、そして実現へ

本アンケートは、国労連の要求と実現を一体的に把握し、2016年春闘に向けた要求整理や今後の組合運動に活用することを目的に実施するものです。  
組合員をはじめ、公務の現場で働く多くの皆さんの積極的なご協力をお願いします。

### 1 今こそ労働組合の力が求められている

国労連はこの一年のたがいで、多くの貴重な対話を築いてきました。とりわけ、2015年春闘期には、すべての労働者の賃金引き上げをめざし全国の主要都市で「ピクニックマップ」運動を展開し、「賃金引き上げは当たり前」の国民の声を高めてきました。こうした世論の盛り上がり、安党内閣にも「内部審判を活用した賃金引き上げ」を要請し、昨年引き続き賃金引き上げの要求を高めてきたことで、2年連続の賃金引き上げ行動につながりました。また、「地方分権改革・週休2日」をめぐる「総対抗MAP」運動で、全国の地方自治体などとの連携をとおして、公務・公共サービス拡充の必要性を訴えてきたことで、地方六団体の連合が雇用反対や理念を表明する声につながり、関連法案の国会提出を拒否しています。私たち、国労連が労働者の要求の前進は、すべての労働者の労働条件改善とともに、国民生活を支える公務・公共サービスの拡充につながるものであり、このことへの国民の理解も広がっています。

現在、あらゆる自治体レベルにわたる有償の定員削減や、「フレックスタイム制」拡大をはじめとした「働き方改革」など、国家公務員労働者への攻撃が加速する中、たたかう労働組合への期待は一層高まり、労働組合活動の重要性と果たすべき役割は大きくなってきています。現場から要求を収集し、運動をより前進させ、全体の確信につなげていきたいと思います。

### 2 アンケートを出発点に国民共同の運動で要求の前進をちかそう

要求の前進には、なによりも私たち一人ひとりの切実な要求に基づく主体的な取り組みが必要です。その出発点として、すべての組合員が、職場の不利や苦痛を出し合い話し合いながら要求におもむき、確信をもてるものにするのが大切です。

その上で、自らの要求と労働者・国民の要求を統合させ、国民労働者をもっと増やす住居と共働きをとりこみ上げていくことが重要で、そうした取り組みを通じてこそ、公務員の雇員削減や削減を断絶し、国民生活の基礎を支える公務・公共サービスの維持・充実をちかそうすることができるのです。

アンケートの記入にあたっては、公務労働者をめぐる状況や要求の到達点などについて、現実に求むる確信を込めて記入してください。また、職場の未加入者にも積極的に声をかけ、どんな要求があるのかを伝えてもらい、組合活動の意義と役割も知ってもらいましょう。

### 【留意事項】

- ① 記入方法は、各問の該当する回答番号に○をつけ、その番号をアンケート回答票の「回答欄」に記入してください。
- ② 「自由回答欄」は、回答に対する意見や理由など自由に書かしてください。
- ③ アンケート記入に際しては、郵封封筒、実封筒、実封筒などについては、甲種からの指示にしたがってください。
- ④ とりわけ対象は、現役正職員および任用職員とします。非正規職員は別のアンケートを準備しています。

【国労連集約日】 基本集約日 11月11日(水)、集約集約日 12月14日(月)

### 【基本項目】

- F1 性別 ①男 ②女  
F2 年齢 ①29歳以下 ②30～39歳 ③40～49歳 ④50歳以上 ⑤非任用者(60歳以上)  
F3 勤務官署 ①本府省、最高級 ②管区機関、高級 ③府県単位機関、地家業本庁等 ④地方自治体機関、地家業支庁等 ⑤施設等機関 ⑥独立行政法人 ⑦国公立大学法人等 ⑧その他  
※「地家業本庁」は、国庫・債権  
F4 世帯の収入構成 ①1人(独身) ②1人(扶養あり) ③共働き ④共働き(双方ともフルタイム) ⑤3人以上の収入  
F5 組合加入の有無 ①加入している ②加入していない

### 【質問項目】

- Q1 あなたの生活実態は、次のうちどれに該当しますか。  
① かなり良い ② やや良い ③ まあまあ ④ やや悪い ⑤ かなり悪い
- Q2 あなたは2016年春闘で、現在の賃金に対し  
① 5千円未満 ② 5千円 ③ 1万円 ④ 2万円 ⑤ 4万円 ⑥ 5万円 ⑦ 6～7万円 ⑧ 8～9万円
- Q3 最近の職場状況について、あなたが感じていますか。  
① 業務量の増加や要員の削減で、仕事が忙しくなっている  
② 休暇が取れない、取れにくくなっている  
③ おい人が減り、後継者育成に不安がある  
④ 業務委託などが増え、行政サービスの質が低下している  
⑤ 窓口など業務上でのトラブルが増えている  
⑥ 職場の労務とコミュニケーションが不足している  
⑦ 同僚からの要求などプレッシャーが増えている  
⑧ 管理職による職場の悪化が感じられている  
⑨ セクハラ・パワハラが増えている  
⑩メンタル疾患などの長期療養者が増えている
- Q4 最近のあなたの働きぶりについて、心身の健康  
① 強く感じる ② やや感じる ③ あまり感じない

# 回答票

## 基本項目

F1

### 非正規で働く仲間の要求アンケート

このアンケートは、公務現場で働く非正規職員の皆さんの生活実態や要求、労働条件を把握するために、全国各地でとりかかれています。実施したアンケートは、2016年春闘要求に反映されると同時に今後の労働条件改善のとりかきにも活用します。

### 基本項目

- A. 性別 ①男性 ②女性  
B. 年代 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上  
C. 世帯の収入構成 ①1人(独身) ②1人(扶養あり) ③共働き(一方が非正規) ④共働き(双方とも非正規) ⑤3人以上の収入 ⑥その他

### 質問項目

- Q1 あなたはどのような雇用形態で働いていますか。  
1. 正職員(正規職員) 2. 非常勤(正規職員以外) 3. 留職中の職員(留職中) 4. 期間限定職員 5. 嘱託・兼任 6. その他( )
- Q2 あなたの生活実態は、次のうちどれに該当しますか。もっとも近いものを選んでください。  
1. かなり良い 2. やや良い 3. まあまあ 4. やや悪い 5. かなり悪い
- Q3 あなたの賃金の1時間あたりの額(時給)はいくらですか。日給制の方や月給制の方は、実際の労働時間で割って算出してください。  
1. 700円未満 2. 700円台 3. 800円台 4. 900円台 5. 1000円台  
6. 1100円台 7. 1200円台 8. 1300円台 9. 1400円台 10. 1500円以上
- Q4 あなたは、時給制であとどのくらい賃金の引き上げを要求したいですか。  
1. 30円未満 2. 30円 3. 50円 4. 60円 5. 100円  
6. 150円 7. 200円 8. 300円 9. 400円以上
- Q5 今の仕事や職場について、とくに不満や不安を感じることを「3つ」以内で選んでください。  
1. 賃金が安い 2. 労働時間が長い 3. 労働時間が短い 4. 休暇がとれない  
5. 雇用契約が不安定なものである 6. 職場の仕事がなくなるのではないか  
7. 仕事がつまらない 8. 正社員を希望していない  
9. 正社員との賃金・労働条件の差 10. 昇進・昇格の機会が少ない  
11. 労働時間が短くない 12. 休日労働が多い 13. 人手が足りない  
14. 福利厚生が充実していない 15. 夜勤が多い 16. 通勤が長い・少ない  
17. ノルマが多い 18. 成果・能力主義が強い  
19. その他( )

### Q5 最近の1か月で、実際にどのくらい時間外労働(休日労働も含む)をしましたが、

- ① 例年同様に ② 10時間未満 ③ 10時間～20時間未満
- ④ 20時間～30時間未満 ⑤ 30時間～40時間未満 ⑥ 40時間～50時間未満
- ⑦ 50時間～60時間未満 ⑧ 60時間～80時間未満 ⑨ 80時間～100時間未満
- ⑩ 100時間以上

### Q6 今後、労働条件等の課題で労働組合が力を入れるべき活動はどのようだと思いますか「3つ」以内で選んでください。

- ① 公務現場の増員
- ② 労働時間の短縮、週休2日の実現
- ③ 業務のカット・簡素化
- ④ 昇給改善
- ⑤ 賃金・退職手当等の改善
- ⑥ 公正な人事評価制度の確立
- ⑦ 休暇制度の充実
- ⑧メンタルヘルス対策など健康の維持・増進
- ⑨ 仕事と家庭の両立支援対策
- ⑩ 非常勤職員等の労働条件引き上げ
- ⑪ 定年延長・再任用による高齢者の生活保障
- ⑫ パワハラ・セクハラなどの防止
- ⑬ 特になし
- ⑭ その他

### Q7 国民本位の行政改革・司法をすすめるにあたって、あなたは何が必要だと思うか「2つ」以内で選んでください。

- ① 賃金引き上げなど公務員の労働条件改善
- ② 業務削減予算の拡充
- ③ 増員による体制の強化
- ④ 受託期間の短縮や休職制度など職員の拡大
- ⑤ 入札・会計制度などの見直しなど「公約的」の創設
- ⑥ 取組官の職務の拡充や、大企業への業務に対する規制の強化
- ⑦ 労働基本権回復など民主的公務員制度の確立
- ⑧ 労働組合としての研究・提言活動
- ⑨ 国民・労働者との対話
- ⑩ 政治の改革
- ⑪ その他

### Q8 政府がねらう「週休2日・地方分権改革」の一環として、国から地方自治体への権限移譲や各種の規制緩和などがすすめられていますが、あなたの考えに合うものを「2つ」以内で選んでください。

- ① 国の行政責任放棄につながる
- ② 国民・住民の受ける公務・公共サービスの低下
- ③ 公務現場の人員確保が求められる
- ④ 経済や生活面で地域間格差が拡大する
- ⑤ 地域社会が活性化される
- ⑥ 地域のことを地域で決められるようになる
- ⑦ 国と地方の二重行政が解消できる
- ⑧ 将来の雇用不安につながる
- ⑨ 自分には関係がない
- ⑩ わからない

### Q9 公務労働者の賃金などの労働条件は、どのような(独立行政法人等の方も可)とお考えですか。

- ① 民間と同様に労働条件を回復し労働の交渉・協議
- ② 人事院勧告制度に基づき決める
- ③ 政府が行政改革を考慮して決める
- ④ その他
- ⑤ わからない

### Q10 国民的な要求(政府に対する要求)で、あなたに「3つ」以内で選んでください。

- ① 財政・社会保障、中小企業振興
- ② 安定雇用の実現、失業者の生活保障
- ③ 労働法改正規制、労働時間上の規制、労働安全
- ④ 最低賃金引き上げ・全国一律導入、公務員法・衆議院議員法
- ⑤ 消費税率引き上げ、大企業・富裕層への課税強化
- ⑥ 年金・生活保護制度の拡充
- ⑦ 医療・介護・保育の充実
- ⑧ 公務・公共サービスの拡充、TPP参加撤回など保護的措置
- ⑨ 教育費削減の拡大、民主的な教育の実現
- ⑩ 選挙法・憲法改正反対、言論・表現の自由など民主
- ⑪ 原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換
- ⑫ 震災復興、防災対策、東海地震の被害軽減
- ⑬ その他

Q5

Q6

Q7

Q8

Q9

Q10

自由意見欄 あなたの意見などを書かして下さい